

まちづくりの目標 2

人が行きかい、にぎわいあふれるまち

政策 1 ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり

4 農林水産業の成長産業化

現状と課題

高齢化や後継者不足による担い手の減少

- ・高齢化や後継者不足により農林水産業従事者数が減少しています。
- ・新規就業者や後継者の育成を図っていますが、生産物の価格低迷や資材の高騰などにより、経営は不安定な状況です。

生産環境の変化

- ・農業では、自然災害の頻発や平均気温の上昇、また、新たな病害虫の発生、鳥獣による農作物等への被害など、生産環境が変化しています。
- ・林業では、山村地域の過疎化による森林機能の低下や長期的な木材価格の低迷による収益の悪化で、森林管理の担い手が減少し、森林のもつ多様な機能が低下しています。
- ・水産業では、鳥取を代表する松葉ガニなどのブランド化が成果として表れていますが、水揚げ量の減少が続いており、過酷な浪々条件の改善といった対応が求められています。

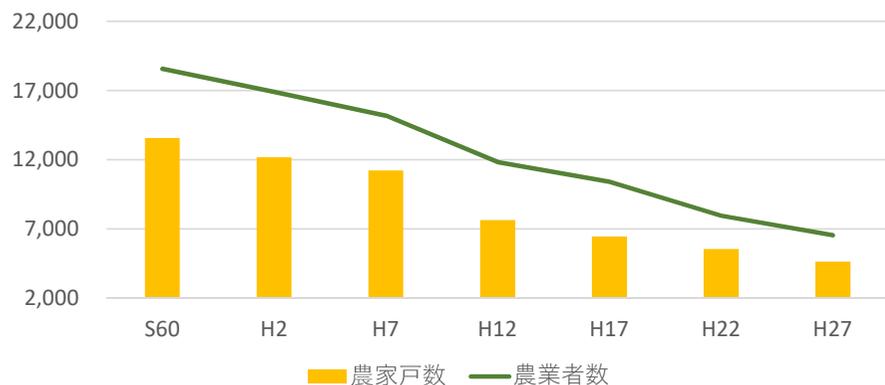
生産基盤の機能維持

- ・農道や水路等の生産基盤の老朽化や耕作放棄地の増加などにより、生産基盤の機能が低下しています。

消費者ニーズの多様化や他産地との競争激化

- ・ライフスタイルの変化や少子高齢化などにより、消費者ニーズが多様化し、国内市場の縮小により、他産地との競争が激化しています。

県東部の農家戸数と農業者数の推移



SDGsの目標との関連



基本的方向

- I 新規就業者及び後継者等への支援など、次世代の担い手の確保・育成に取り組みます。
- II 農林水産業のスマート化や農地の集積化など、生産基盤を強化する取組を支援します。
- III 農林水産物のブランド化、産地化などの高付加価値化を進め、持続的に成長する収益力の高い農林水産業の実現を目指します。

主な取組

I 農林水産業を支える次世代の担い手の確保・育成

- 新規就業者の確保・育成
 - ◆新規就業への支援 ◆集落営農組織の設立支援
 - ◆経営相談体制の充実
- 意欲ある担い手への支援
 - ◆経営安定化への支援 ◆施設整備等への支援
 - ◆新技術等導入への援
- 多様な人材の活躍促進
 - ◆他業種等からの参入促進 ◆研修制度の充実

II 生産基盤の整備と多面的機能の確保

- 生産性の向上促進
 - ◆生産施設等の整備支援 ◆農地等の集約化の促進
 - ◆農林水産業のスマート化の推進
- 自然災害等への対応
 - ◆鳥獣被害の防止 ◆災害からの復旧
- 生産環境の保全
 - ◆農地集積化の促進 ◆生産施設等の長寿命化

III 産地化・ブランド化による収益率の向上

- 地域資源の魅力向上
 - ◆ブランド農林水産物の品質確保
 - ◆6次産業化などの付加価値の向上
- 販売と流通の促進
 - ◆サプライチェーンの強化 ◆県外の新たな販路開拓

施策の体系

目標指標

主な指標	現状	目標
農林水産業の新規就業者数	R元年度 16人	R7年度までの累計 109人
市内農業産出額	H30年 129億円	R6年 150億円
市内木材搬出量	R元年度 38,955m ³	R7年度 52,000m ³

市民や事業者等が担う役割

- 市民
 - ◆地元農林水産物の消費に努めましょう。
- 事業者
 - ◆安心・安全かつ、良質な農林水産物の安定供給に努めましょう。
 - ◆付加価値向上に取り組み、他産地との差別化を図りましょう。

まちづくりの目標②

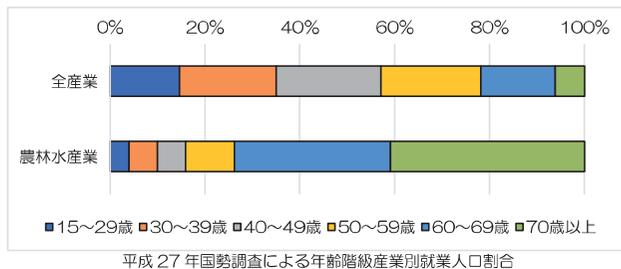
人が行きかい、にぎわいあふれるまち

一政策1 ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり

基本施策4 農林水産業の成長産業化

(1) 現状と課題

- 本市の農林水産業は、日本海の海の恵みや雄大な中国山地から流れる千代川の豊かな水の恵みにより育まれてきました。市域の8割を超える農地や山林の保全や活用は、本市が目指す将来像の実現に重要な役割を果たしています。
- 農業は、鳥取平野に広がる稲作を中心に、砂丘地でのらっきょうや白ネギの栽培、丘陵地での梨や柿、葡萄、桃などの果樹栽培が盛んです。
- 一方で、高齢化や後継者不足に直面しており、離農や耕作放棄地も増加していることから、スマート農業の導入などの機械化・省力化による農業経営の大規模化を進めるとともに、高収益作物への転換や6次産業化などにより、収益力の高い農業を実現し、国内外での競争力を高めていくことが求められています。
- 現在、市場流通が主体であり、市場価格に所得が左右されている現状があります。安定した取引先の確保のため、新たな販売手法の確立やノウハウが求められています。
- 農業生産条件が不利な中山間地域では、担い手の確保が難しく、猪や鹿などによる農作物被害の増加もあり、地域活力や多面的機能の低下が懸念されています。集落機能の強化やスマート農業技術の導入による農作業の省力化を進めるとともに、中山間地域の特性や資源をいかした農業・農村の活性化が求められています。
- 林業では、一部に就業者の若返りが見られますが、山村地域の急速な過疎化・高齢化や長期的な木材価格の低迷による収益の悪化で、森林管理の担い手が減少し、手入れが必要な森林や里山が放置されるなど、森林のもつ多様な機能が低下しています。林業経営基盤の強化を図るための、造林や素材生産の低コスト化や流通から加工・販売までの総合的なサプライチェーンの構築に加え、森林が有する生態系や植物の多様性の保全による公益的機能の維持が求められています。
- 水産業では、鳥取を代表する松葉ガニ、白いか、モサエビ、岩ガキ、湖山池のシジミなど、ブランド化への努力が徐々に成果として表れつつあります。しかし、就業者の減少、水揚げ量の減少が続いており、過酷な労働条件の改善や定置網の整備、キジハタやアワビなどの栽培漁業など持続的な漁業に向けた対応が求められています。



(2) 施策の基本的方向

経営面積の拡大やスマート技術の活用、生産基盤の整備など経営の低コスト化、省力化を進めることで経営基盤の強化を図るとともに、農林水産物のブランド化、6次産業化、有機栽培などの高付加価値化の推進を図り、国内外への販路を拡大して、持続的に成長する収益力の高い農林水産業の実現をめざします。

(3) 施策の主な内容

① 農林水産業を支える多様な人材の育成

- ・ 集落営農組織の設立や法人化を促進し、経営基盤の安定した経営体を育成します。
- ・ 就業前から就業後の研修体制や経営相談、生活サポートなどのきめ細やかな支援により、新たな農林漁業者の確保・育成に努めます。
- ・ 半農半X⁹⁰などの新たな担い手を受け入れるため、農地付きの空き家の紹介や農業研修の実施などに取り組み、多様な農業・農村の新たな人材を育成します。
- ・ 集落単位で実効性のある「人・農地プラン」づくりを進め、担い手への農地の集積・集約を進めるとともに、地域が支える仕組みを整えます。



新たな担い手（新規就農）

② 産地化・ブランド化による収益率の向上

- ・ 鳥取生まれの新品種「星空舞」、鳥取和牛や鳥取地どり、鳥取砂丘らっきょうや二十世紀梨などのブランド農産物の品質の確保と生産量の安定化を進めます。
- ・ 葡萄や桃、アスパラガス、白ネギ、ブロッコリー、鳥取茸などの推奨作物の生産規模の拡大、産地化に取り組みます。
- ・ スマート農業の実証事業に取り組むなど、イチゴやトマトなどの次世代型施設園芸作物の産地づくりを支援します。
- ・ CLT⁹¹や木質耐火部材など、付加価値が高く、かつ木材利用の幅を広げる新素材の市場開拓等を支援します。
- ・ 適正な資源管理のもとで、日本海で漁獲される松葉ガニや白いか、岩ガキ、湖山池のシジミなどの水産物の特産品化を推進するとともに、キジハタやアワビなどの高級魚種の栽培漁業を支援します。

主な取組



砂丘らっきょう
GI（地理的表示保護制度）



鳥取和牛



新品種「星空舞」



次世代型施設園芸による
新たな産地づくり

⁹⁰ 半農半X：自分や家族が食べる分の食料は自給農でまかない、残りの時間は「X」、自分のやりたいことに費やすという生き方。

⁹¹ CLT：“C”はクロス（交差），“L”はラミネティド（張り合わせる），“T”はティンバー（木材）の略で、木の繊維の方向が直角に交わるように板材を重ねて接着した大判のハネルのこと。

③ 生産基盤の整備と多面的機能の確保

- 農業の大規模化、省力化に向けた基盤整備・改修を行います。
- 防災重点ため池の決壊による被害を防止するため、県市で連携し、計画的に防災工事等を推進します。
- 多面的機能支払交付金事業などを活用した地域住民による農業・農村の保全活動を支援します。
- 農地法面管理の省力化やスマート技術の導入に向けた取組を支援し、中山間地域の農地・農業の保全に努めます。
- 鳥獣被害を防止するため、地域ぐるみの被害対策の普及・促進を図るとともに、侵入防止柵の設置や捕獲などの支援、捕獲した鳥獣のジビエ利用や処理施設の整備を進めます。
- 林業用路網の計画的な整備や高性能林業機械の導入を促進するとともに、新たな森林管理システムによる効率的な森林経営基盤の強化を図ります。
- 環境や防災上の配慮が必要な森林は、公的な管理を導入し、針葉樹・広葉樹混交林化や下層植生の育成など、公益的機能の向上を図ります。
- 各漁港の機能保全計画により、施設の計画的な改修、航路の確保に努めるとともに、資源保護や漁場の環境整備を支援します。
- 自然災害や価格低下などに備えた収入保険や共済への加入、施設や装備の補強、速やかな復旧などセーフティネットの整備を促進します。



鳥獣対策（捕獲対策強化）



高性能林業機械



水田水管理システム

④ 販路の拡大と地産地消の推進

- 生産者と実需者、消費者とのマッチングの場を提供し、新たな商品開発や販路の拡大につなげます。
- 「麒麟のまち」関西情報発信拠点や「地域商社とっとり」、全農とっとりなどと連携して、国内外への戦略的な販売を促進します。
- 学校給食での地元食材の利用を促進し、地産地消率を向上させます。
- 鳥獣による農作物被害等の軽減のため、ジビエ肉の利活用体制の強化を図ります。



とっとり旬彩マルシェ



商談会による販売促進

⑤ 6次産業化と農商工連携

- 生産から流通、加工、販売の一体的な取組や経営の多角化・複合化を総合的に支援するなど、農林水産業の6次産業化を推進します。
- サプライチェーンマネジメント⁹²を支援し、農林水産物の高付加価値化と収益力を向上させます。



観光農園



6次産業化によるワイン製造



ロクジカマッチングサイト

⁹² サプライチェーンマネジメント：「原材料や部品調達→生産→流通→販売」という一連のプロセス全体を経営管理する取組。

⑥ 次世代型農林水産業の具現化

- AI、ICT、レーザー航測などのスマート技術を活用した農林水産業のデジタル化を進め、作業の省力化や経営の安定化を図ります。[▶【Society 5.0】](#)
- 太陽光や水力、温泉熱などの自然エネルギーを活用した、新たな農業の経営モデルの検討を進めます。[▶【Society 5.0】](#)
- GAP⁹³、HACCP⁹⁴、ブロックチェーン⁹⁵技術など、生産工程の管理や情報発信を適切に行う経営環境の構築を支援するなど、グローバル基準の経営者を育成します。[▶【Society 5.0】](#)



ドローン



ロボット草刈り機



スマートグラスを活用した栽培記録

(4) 評価指標

指標名	現状	目標	指標の説明
市内農業算出額	129 億円 (H30年)	150 億円 (R6年)	農林水産省が生産農業所得統計により推計した当該年の市町村別農業算出額の本市の値。
市内木材搬出量	38,955 m ³ (R元年度)	52,000 m ³ (R7年度)	当該年度の林業経営体の経営計画に基づく市内の間伐木材搬出量。
市内漁獲量	2,203 t (R元年)	2,203 t (R7年)	当該年の海水面漁業の市内漁獲量。

(5) SDGsの目標との関連



⁹³ GAP（ギャップ）：Good Agricultural Practiceの略称。農業において食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。

⁹⁴ HACCP（ハサップ）：Hazard Analysis and Critical Control Pointの略称。製品の安全性を確保するため、国際的に推奨されている食品の衛生管理手法。

⁹⁵ ブロックチェーン：分散型ネットワークを構成する複数のコンピュータに、暗号技術を組み合わせ、取引情報などのデータを同期して記録する手法

市民等参加事業について

年度	目的	手法	性質	取組	対象者/分野	人数/回数/時期等
R6	幅広く定量的な 基礎資料の収集	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政全般 ・ 選択式設問による定量的意見 ・ あなたの考える「まちのミライ」について自由記述 	市民アンケート	15歳以上の市民	4000人
R6				市政広報モニターアンケート	市政広報モニター	100人
R6			<ul style="list-style-type: none"> ・ 進学/就職について ・ 将来的な定住について ・ 選択式設問による定量的意見 	高校生アンケート	市内高校生	800人
R6				大学生アンケート	市内大学生	鳥大・環大 300人
R6			<ul style="list-style-type: none"> ・ 転出/転入理由 ・ 鳥取市の魅力 ・ 選択式設問による定量的意見 	転出者アンケート	転出手続を行った方	市民課窓口で実施中
R6				転入者アンケート	移住者	地域振興課で実施
R6	個別テーマの 定性的な 意見聴取	意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回ごとに個別テーマ設定 ・ テーマに応じて担当部局若手職員が同席する ・ 意見交換による定性的意見 	ワークショップ	市民	全4回 ※第1回目は7/21 (日) 予定 各回30人程度
R6 R7				地方創生ストリートミーティング	学生/子育て世代/外国人等	全5回(予定) 7~10月頃
R6	地域/団体の 意見聴取	意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換による定性的意見 	地域振興会議	各地域居住者(新市域)	全8回 (各地域1回)
R6				地域意見交換会	各地域居住者(旧市域)	全7回程度
R6 R7			<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換による定性的意見 ・ 素案に対する意見 	市政懇話会	市政懇話会委員	1回
R7			<ul style="list-style-type: none"> ・ 素案に対する意見 	商工会議所との意見交換会	商工会議所	1回
R6 R7	俯瞰視点による 定性的な意見聴取	審議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換による定性的意見 	総合企画委員会	総合企画委員会委員	R6: 5回 R7: 6回
R7	意見公募	その他	-	パブリックコメント	市民	1回
R7	広報周知	広報周知	-	広報番組	市民	検討中

策定組織概念図

